

レジメン名称(パージェタ+トラスツズマブ+パクリタキセル_q3w) 乳癌

ID 患者氏名 様 (性別)

身長 cm 体重 kg 年齢 歳 体表面積 m²

薬剤	投与量	投与日 1 コース 3 週間		
		Day 1	8	15
パージェタ	初回 840 mg/body、2 回目～420 mg/body	↓		
トラスツズマブ	初回 8 mg/kg、2 回目～6 mg/kg	↓		
パクリタキセル	80 mg/m ²	↓	↓	↓

注意事項

パクリタキセル：アルコール過敏の確認。アルコール含有のため、外来施行時、運転等での来院について確認、注意すること。
パクリタキセルは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

乳腺外科時：パクリタキセル投与時、手足に弾性ストッキングを使用

心機能に注意 投与前には心機能を評価する（EF 50%以上）

パージェタ 840mg を投与する時：心電図モニター、BP、HR 測定、全身状態の観察が必要（詳細は投与方法の項を参照）

添付文書より：パージェタの投与が遅れた際には、以下のとおり投与することが望ましい。

- 1). 前回投与日から 6 週間未満のときには、4 2 0 m g を投与する。
- 2). 前回投与日から 6 週間以上のときには、改めて初回投与量の 8 4 0 m g で投与を行う。なお、次回以降は 4 2 0 m g を 3 週間間隔で投与する。

添付文書より：トラスツズマブの投与が遅れた際には、以下のとおり投与することが望ましい。

- 1). 前回投与日から 6 週間未満のときには、6 m g / k g を投与する。
- 2). 前回投与日から 6 週間以上のときには、改めて初回投与量の 8 m g / k g で投与を行う。なお、次回以降は 6 m g / k g を 3 週間間隔で投与する。

パクリタセキル初回および 4 週以上あいた時：心電図モニター、BP、HR 測定、全身状態の観察が必要（詳細は下記参照）

投与方法：1日目	
1	生食 100mL ケモセーフロック (フィルター付き) の点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒 (チェンバー) を 3/4 程度満たす
2	初回 パーージェタ 840 mg, 生食 250mL、60 分、メインルートから投与 以降 パーージェタ 420 mg, 生食 250mL、(初回で問題無ければ) 30 分、メインルートから投与 パーージェタ 840mg を投与する時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気)
3	生食 50mL メインルートから投与 経過観察 パーージェタ 840mg を投与する時：ゆっくりルートキープ、30 分間投与 (残破棄可) (問題なければ) 以降：ゆっくりルートキープ、15 分間投与 (残破棄可)
4	トラスツズマブ mg, 生食 250mL トラスツズマブは注射用水で溶解：60mg/3mL、150mg/7.2mL 90 分、(問題なければ) 次は 60 分、(問題なければ) 以降 30 分、メインルートから投与 注意：点滴時間は前回投与から 8 週以上経過している時は 90 分で投与 (初回扱い)
5	デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A、デキサート(1.65mg/0.5mL) 1A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、ポララミン注 (5mg/1mL)、生食 30 mL 5 分以上かけて点滴、メインルートから投与
6	グラニセトロン(3mg/100mL) 1V 30 分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
7	パクリタキセル mg、生食 250 mL 60 分かけて、ケモセーフロックのルートより投与 乳腺外科時：パクリタキセル投与時、手足に弾性ストッキングを使用 初回および 4 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気)
8	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄

投与方法：8、15日目	
1	生食 100mL ケモセーフロック (フィルター付き) の点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒 (チェンバー) を 3/4 程度満たす
2	デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A、デキサート(1.65mg/0.5mL) 1A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、ポララミン注 (5mg/1mL)、生食 30 mL 5 分以上かけて点滴、メインルートから投与
3	グラニセトロン(3mg/100mL) 1V 30 分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
4	パクリタキセル mg、生食 250 mL 60 分かけて、ケモセーフロックのルートより投与 乳腺外科時：パクリタキセル投与時、手足に弾性ストッキングを使用 初回および 4 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気)
5	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄